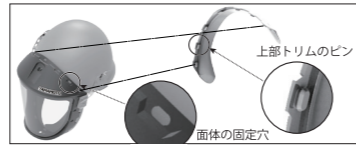


LS-900S
 ルーズフィット形フェイスシールド
 国家検定合格番号 第TP128号
 大風量形, PL3, S級

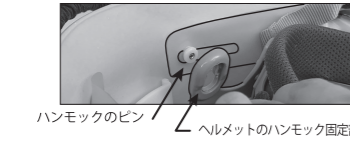
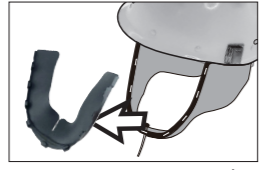
■ レンズ、上部トリムの交換方法

1. カバーで固定しています。
2. レンズは面体の4箇所のスリットから抜き取り、新品を差し込みます。
3. 上部トリムは全てのピンを面体の固定穴に外側から差し込みます。



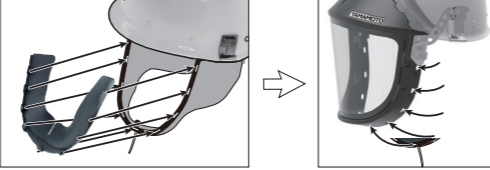
■ フェイスシールド・フードの交換方法

1. カバーで固定しています(上記と同じ)
2. 上部トリムの両端2か所を外しフード固定部をはずします。
3. フェイスシールドとフードの全てのピンを面体の固定穴からはずします。
4. フェイスシールドからフードを外します。

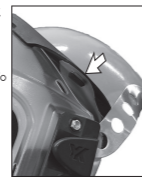


左記の1～5の逆の順序で取り付けます。

1. ヘルメットのハンモック固定部のピンにフード固定部をひっかけてから、ハンモックパーツを取付けてください。
2. フードにフェイスシールドのピンを差し込んで、その状態で、面体にピンを差し込みます。



3. 上部トリムの両端2か所を外しフード固定部と一緒にトリムを差し込んでください。
4. カバーで固定してください。



フード交換方法

● 標準品の仕様一覧

型式名(合格番号)	品名	フレーム	フード	レンズ	カバー	フェイスシールド	ホース(連結管)	ヘルメット	フィルター(ろ過材)	プロアユニット	バッテリー	充電器
LS-900S(第TP128号)	LS-900S; H1SNM (一般粉じん作業用)	透明(H)	布フード KLS-103	透明(1)	透明	シリコン(S) KLS-102	アルミカバー無し(N)	飛来落下物用(M)	防じん用フィルター NMF-900S (メカニカルフィルター)	BLA-900S *フィルター バッテリー付き	BA-L900 (1個)	BC-900
	LS-900S; W2SAM (ガス溶接作業など)	遮光#1.7(2)		WPホルダー(P)								
	LS-900S; WPSAM (TIG溶接など) ※遮光フレームは別売	透明										

※上記は標準品の仕様です。品名後部の記号は各種部品構成の(記号)です。
 例: LS-900S; H1SNM → (H) フレーム透明/ (1) レンズ透明/ (S) フェイスシールド シリコン/ (N) ホースアルミカバー無し/ (M) ヘルメット飛来落下物用

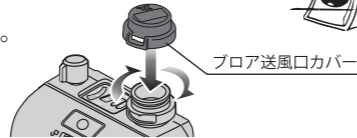
● 同一型式に対応した部品一覧

型式名	レンズ(アイピース)	ホース(連結管)	ヘルメット(内蔵ダクト付き)	フェイスシールド(フード付き)
LS-900S(第TP128号)	KL-75(透明レンズ) KL-76(遮光レンズ#1.7) KL-77(遮光レンズ#3)	KL-25 アルミカバー無し KL-26 アルミカバー付き	KL-44(飛来落下物用) KL-544Z(墜落時保護用)	KFS-3H1S(透明フレーム×透明レンズ) KFS-3W2S(黒色フレーム×遮光レンズ#1.7) KFS-3W3S(黒色フレーム×遮光レンズ#3) KFS-3WPS カナグツキ(黒色フレーム×透明レンズ×WPホルダー)

※ホースの長さは、同一型式範囲内で別注可能です。当社へご相談ください。 ※LS-360とLS-900ではアームとフェイスシールドが異なります。

● 保守・保管

- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で拭くか、水に浸した布を軽く絞り拭き取ってください。アルコール、シンナー、ベンジン等の揮発性があるものは変質する場合がありますので絶対に使用しないでください。
- 保管場所は、高温な所、多湿な所、粉じんの多い所、極端に低温な所などは避けてください。
- プロアユニット、フィルターを高圧エアで吹き飛ばしたり、水洗は絶対に行わないでください。
- プロアユニットを保管する場合は付属の送風口カバーを取り付けてください。



● 改造・修理等

ご使用者による改造・変形等は事故、破損の原因となり危険ですので絶対におやめください。主要交換パーツについては「同一型式に対応した部品一覧」をご参照ください。その他交換パーツや修理等につきましては当社へお問い合わせいただくか、カタログをご参照ください。

● 廃棄方法

製品およびフィルターの廃棄は、付着した粉じんが飛散しないように袋等に入れて廃棄してください。

● 商標

■ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。山本光学株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

■ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

● その他

本製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。EYSHCN: 001-A10745

※本製品に関するお問い合わせおよび修理・メンテナンスに関するご依頼はこちらまで

この度は電動ファン付き呼吸用保護具 *Life Saver* をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をご精読の上、正しくご使用ください。この取扱説明書は読み終わった後も大切に保管してください。

● 使用上の注意

この取扱説明書は本電動ファン付き呼吸用保護具の使用者以外が取り除いてはなりません。製造元、販売店は本製品に破損が生じないこと、および本製品の使用によって身体の損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

この取扱説明書は **危険** **警告** **注意** を記載しています。以下が定義です。内容をよく理解した上で本文をお読みください。

危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷に至る切迫した危険な状態を指す。	警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷に至る可能性のある危険な状態を指す。	注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽症を負うかまたは、物的損害のみが発生する可能性のある危険な状態を指す。
危険	酸素濃度が18%未満の場所では、絶対に使用しないでください。酸素欠乏のため、死亡もしくは酸素欠乏症になる危険性があります。有害なガスが存在する場所では、絶対に使用しないでください。まったく効果がありません。ガス中毒のため死亡、もしくは急性障害になる危険性があります。使用中にもし電動ファンが停止した場合は、フェイスシールド、フードを外してください。フェイスシールド、フード内の二酸化炭素の濃度が高くなり危険です。	警告	ご使用中に電動ファンが停止した場合は、粉じんが侵入し呼吸保護の機能が失われますので、すみやかに電動ファンを稼働させてください。鉛直に落下する水滴では破損しないことを確認しておりますが、ICなどを組み込んでいますので水洗等はしないでください。絶対に充電端子をショートさせないでください。溶接ヒュームや粉じん等が発生する場所での充電器の使用は回路内の汚染や基盤の融解、ショートによる発火の恐れがあるため使用しないでください。落としたり、ぶつけたりしないでください。バッテリーの充電は必ず専用の充電器を使用してください。バッテリーの端子部分は絶対にショートさせないでください。	警告	フィルターユニットの取扱いは以下の事項を必ず守ってください。 ・絶対に洗わない ・物を差し込んだり指でつつかない ・落とさない ・取付方向を間違わない ・高圧エアを吹き付けけない
注意	付属のフードは電動ファン付呼吸用保護具の防護性能を保証するために必要なフードです。付属のフードが外れたり、穴の開いた状態で使用されると、防護性能が得られませんので、ご使用前に必ず点検を行ってください。 ・フードには防炎加工を施していますが、溶接作業など火気等のある作業から絶対の安全を保証するものではありません。 ・アーク溶接等の強い光を浴びると変色する可能性があります。 ・フードは不燃ではありません。溶接作業時の火気等により、生地が炭化し、穴が開く場合があります。	注意	本製品は弊社品質基準に合格しておりますが、輸送途上などで製品にキズや変形などを生じる場合があります。ご使用前に必ず点検を行ってください。 ・フェイスシールド、フード、面体、ダクトホース等に破損がないか確かめてください。 ・本体、フィルター等に破損がないか確かめてください。		

■ バッテリーユニットの取扱いについて

本製品に使用しているリチウムイオン電池は、ご使用されなくても自然に放電します。ご使用前には必ず充電してからご使用ください。スイッチの切り忘れ等で長期に過放電されると、一時的に充電効率が低下する場合があります。長い間ご使用にならなかった場合、初回充電では容量が少ない場合がありますが、数回充放電を繰り返すことにより容量は回復します。

■ バッテリーの取扱い温度

充電時: 10℃～35℃ 使用時: -10℃～40℃
 保存時: -20℃～40℃



リチウムイオン電池は「リサイクル法」にて製品指定を受けています。再利用しますので、廃棄せずリサイクルにご協力お願いいたします。ご不要になった電池は弊社宛にご返却ください。

● 用途

空中に飛散・浮遊する有害な粉じんなどが発生する作業に役立ちます。

溶接、研磨・研削作業、グラインダー作業、粉碎作業、セメント・粉末薬品などの粉体取扱作業、バフ作業、鑄造の砂処理作業、農業散布など。管理濃度が0.1mg/ m³以下の作業に適しています。

● 警告

上記以外の用途に使用しないでください。

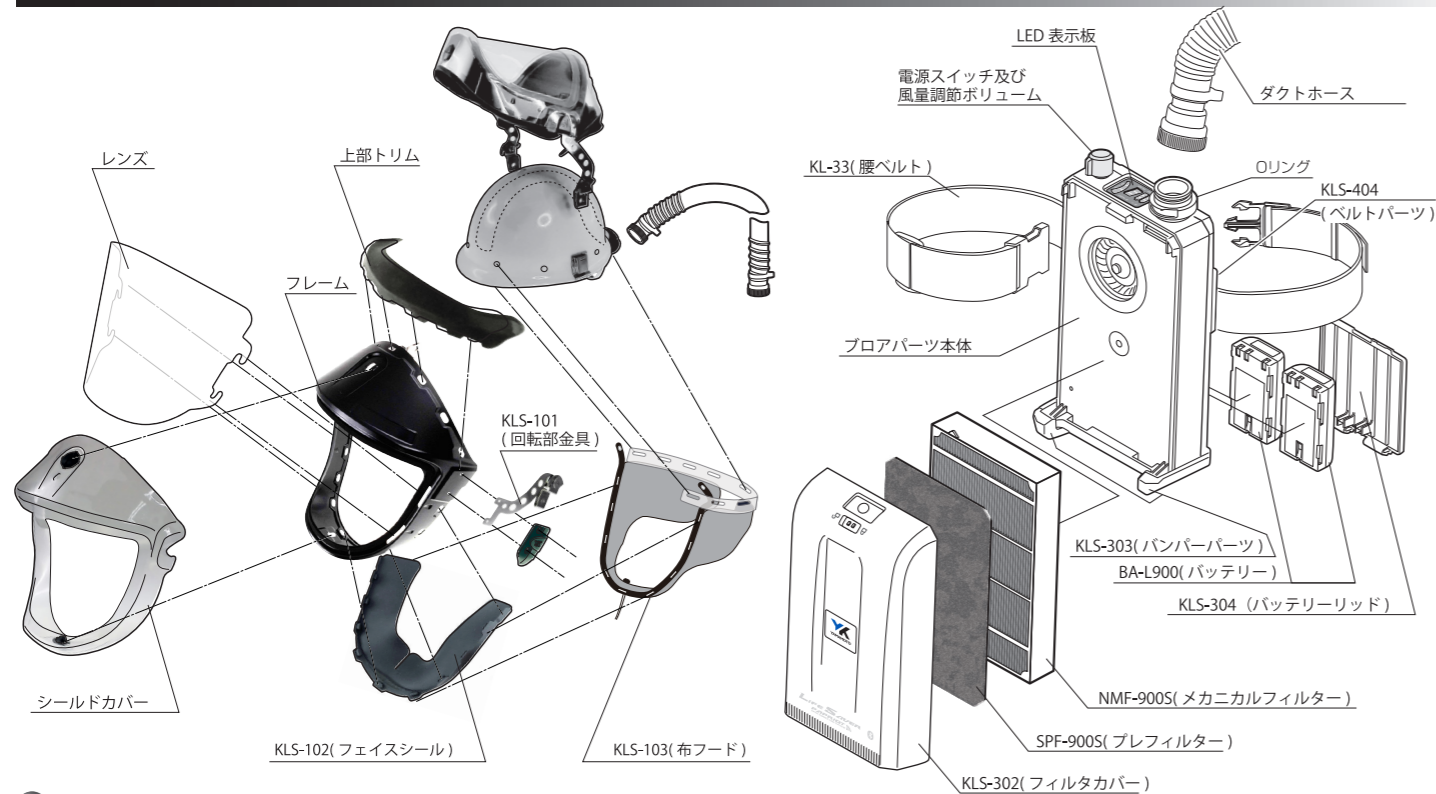
● 性能

型式	LS-900S			
項目	社内基準値		測定値(平均)	
DOP粒子捕集効率	99.97%以上		99.99%	
漏れ率	0.1%以下		0.01%	
最低必要風量	138L/分以上		165L/毎分	
風量範囲	138L～330L/毎分		165L～298L/毎分	
連結管強度	50N以上		>196N	
騒音	80dB以下		74dB	
公称稼働時間	<バッテリー1個> 弱: 5時間以上 中: 4時間以上 強: 2.5時間以上 ターボ: 1時間	<バッテリー2個> 弱: 9時間以上 中: 8時間以上 強: 6時間以上 ターボ: 2時間	<バッテリー1個> 弱: 5.5時間 中: 4.5時間 強: 3時間 ターボ: 1.6時間	<バッテリー2個> 弱: 10.6時間 中: 9.3時間 強: 6.5時間 ターボ: 3.5時間
質量	3.0kg以下		2.1kg(バッテリー1個)	2.2kg(バッテリー2個)

※公称稼働時間は使用環境やバッテリーパックの状態、フィルターの目詰りの状況により短くなる場合があります。

※JIS T8150:2021(呼吸用保護具の選択、使用及び保守管理方法)の附属書JCのSWPF試験により、指定防護係数(APF)は300。

● 各部の名称と機能

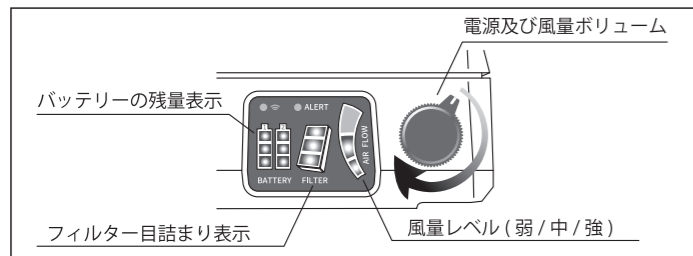


● ご使用前に

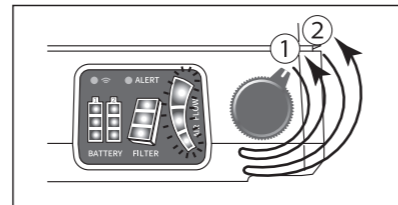
ご使用前にフェイスシールド、フード、ダクトホース等に破損がないか確かめてください。バッテリー、フィルターについては下記をご参照の上、破損がないか確かめてください。
※パーツ交換時は粉じんや鉄粉のない現場で交換してください。製品内部に粉じんや鉄粉が入ると故障の原因となります。

■電源の入れ方・切り方、風量の切り替え

風量ボリュームを右に回すと電源が入り、逆に戻すと電源が切れます。風量ボリュームに合わせてLED表示「AIR FLOW」が点灯し、弱、中、強の三段階で調節が可能です。

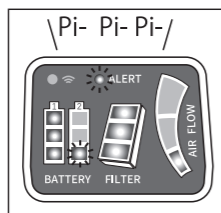


弱、中、強の他に風量ボリュームをオン/オフを2回連続して繰り返すことで強より強いターボの風量に切り替わります。



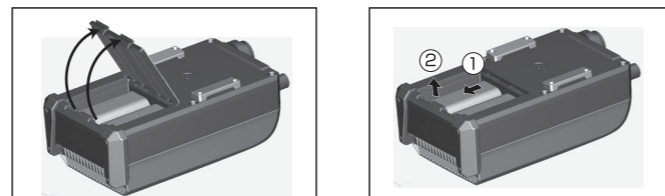
■バッテリーのチェック(2本装着可能)

電源スイッチを入れて残量を確認し予定する使用時間に足りない場合はバッテリーを交換又は充電をしてください。(残量が少ない時は点滅とアラーム音が鳴ります。少ない方が空になるとアラーム点滅後多い方に切り替わります。)

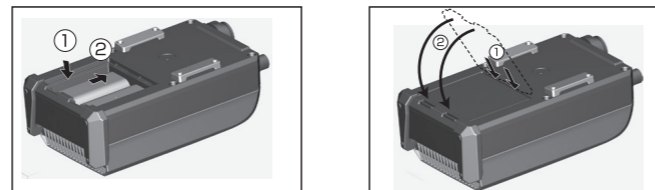


■バッテリーユニットの交換方法

1, バッテリーカバーを開け外します。 2, バッテリーユニットを押し込みながら矢印の方向にスライドさせ手前に外します。

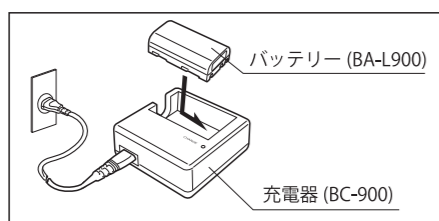


3, バッテリーユニットを押し込みながら矢印の方向にスライドさせ、カチッとロックされるのを確認し、バッテリーカバーを固定してください。



■バッテリーの充電方法 ※必ず専用の充電器をご使用ください。

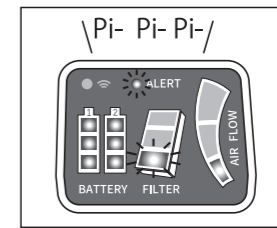
1, バッテリーユニットは専用の充電器で約4時間充電してください。 2, 充電が完了するとパイロットランプが消えます。(過充電保護機能付き)



※溶接ヒュームや粉じん等が発生する場所での充電器の使用は回路内の汚染や基盤の融解、ショートによる発火の恐れがあるため使用しないでください。

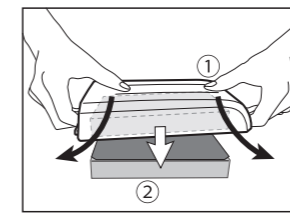
■フィルターのチェック

電源スイッチを入れてフィルターが未装着時は光センサーで検知してアラーム音が鳴りますのでフィルターを取付けてください。電源スイッチを入れLED表示板「FILTER」が点滅しアラームがなる場合はフィルタ交換時期です。フィルターを交換してください。

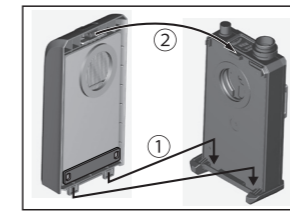


■メカニカルフィルター(NMF-900)交換方法

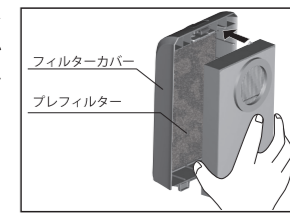
1, 右図のようにフィルターカバーの両端を両手で持ち、①上部を押しながらかみながら②フィルターがはずれます。



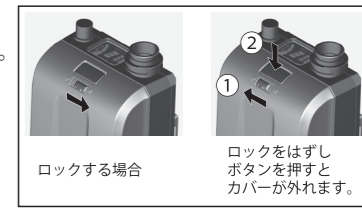
3, フィルターカバー下部にある凸形状を本体側の凹形状に差し入れてから、上部を本体側に「カチッ」と音が鳴るまで押し込みフィルターカバーを固定してください。



2, フィルターカバーの裏側にプレフィルターが入っていることを確かめ、フィルターの凸形状部をカバー部に差し込んでください。



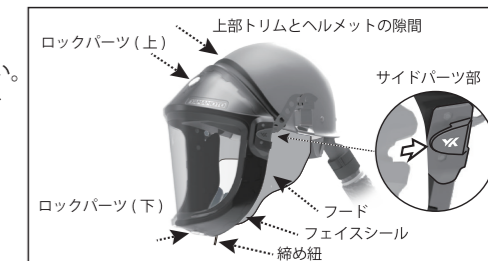
4, スライドパーツを移動させロックすることができます。



■フェイスシールド

※フードに変色、炭化、穴あき等がみられた場合は、速やかに交換してください。

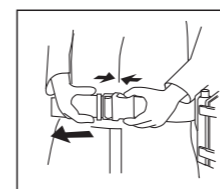
1, フェイスシールド・上部トリム・レンズがしっかりと取り付けられているか確認してください。 2, フェイスシールドの両端がしっかりとサイドパーツの内側に差し込まれ、上下ロックパーツで固定されていることを確認してください。(フェイスシールド・上部トリム・レンズを固定しています。必ずカバーを取り付けた状態でご使用してください。) 3, 上部トリムとヘルメットとの隙間がないことを確認してください。 4, フードがしっかりと装着されているか確認してください。 5, フードの内側の締め紐を引っ張り、首との隙間をなくすよう、調節を行ってください。



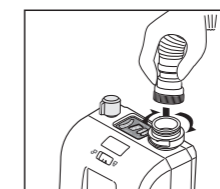
● 装着方法

■プロアユニット

1, 腰ベルトのバックルを止め、ベルトの端を引っ張り身体に合うサイズに調節してください。



2, フードまたはフェイスシールドを正しくかぶり、ダクトホースのコネクターを接続します。

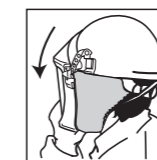


3, 電源スイッチを入れ、お好みの風量に調節してください。



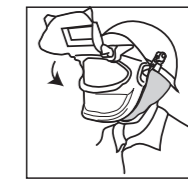
■フェイスシールド(ヘルメット取付タイプ): LS-900S

1, ヘルメットが頭にきっちりと合うように、後ろの調節ベルトでサイズ調節を行ってください。 2, シールド部分を最後まで下げてください。(必ず、プロアユニットの電源をONにしてから装着してください)



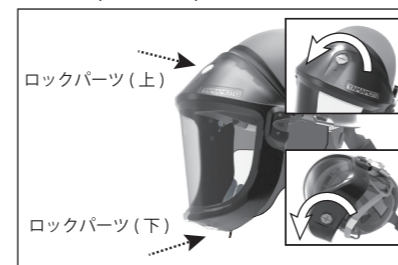
■フェイスシールド(ヘルメット取付タイプ): LS-900S;WP

1, 2, 左図と同じ内容で装着してください。 3, 必ず遮光プレートのWPカバーは下げて使用してください。(溶接時)

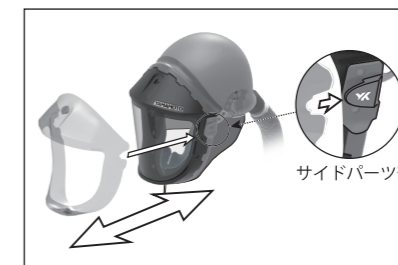


■カバーの脱着方法

1, 上下ロックパーツを左に90°回転させてロックを外し、(ゆるめる)カバーを取り外します。



2, カバーの取り付けは、カバー側の凹形状をYKマークのサイドパーツに差し込みます。



3, 上下ロックパーツをはめ込み、それぞれ右側に回転させ固定してください。

